

事業報告書

1 支援団体名	筑後川まるごと博物館運営委員会
2 事業名称	昭和 28 年筑後川大洪水の体験を見聞する会と記録写真展
3 実施日時	2015 年 7 月～2016 年 2 月
4 実施場所	福岡県久留米市内筑後川周辺
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>① 昭和 28 年大洪水の体験者を一般募集してその経験を語る会を行った。事前に募集に応じた方 2 名と、当日会場から飛び入りで 5 名の方が発表した。</p> <p style="padding-left: 20px;">7 月 4 日実施 30 人参加</p> <p>② 昭和 28 年水害写真展を夏のクルーズ実施日に合わせて、くるめウスで行った。多くの来館者の他乗船者も写真とその解説文に興味深く見ていた。</p> <p style="padding-left: 20px;">また上流の大分県でも出前で水害写真展を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">昭和 28 年大洪水写真展第 1 回(中流くるめウス) 8/2～8/10 500 人</p> <p style="padding-left: 40px;">昭和 28 年大洪水写真展第 2 回(上流大分県) 11/7～11/8 300 人</p> <p>③ 8 月のクルーズは晴天に恵まれ、定員ほぼ一杯の子供を含む 40 人の参加で行い、昭和 28 年大洪水の被害を被った橋などの水害跡を船で見て回り、水害の写真を見せながらの解説や体験者の証言を伝えた。また 11 月には、中流の水害被災地などを見学するツアーを行い、学生と一般の人の参加者が多くあった。</p> <p style="padding-left: 40px;">第 1 回クルーズ 8/8 実施 40 人</p> <p style="padding-left: 40px;">第 2 回現地ツアー 11/28 実施 45 人</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <p>① 大洪水を語る会で実際の体験を聞いた人は、災害を自分の事のように感じていた。</p> <p>② 水害写真展は多くの人が熱心に見ていた。写真だけでわからない当時の様子も、ふせん紙で解説があるので分かりやすかったと好評だった。</p> <p>③ 昭和 28 年大洪水の被害に遭った場所で、その時の様子を伝えると、未体験の多くの人は、その恐ろしさを実感できた。同時に当時の写真も見せて解説したのでわかりやすかったようだった。</p>
6 参加内訳	総人数 922 名
	(1) 主催者参加 事務局、スタッフ 5 名
	(2) 日本人参加 ((1) を除く) 915 名
	(3) 外国人参加 ((1) を除く) 2 名
7 今後の方針	大洪水から 60 数年を経過しても、いつ起きるとも知れない水害への備えは常に行う必要がある。人々に過去の災害と備えの必要性を伝えるこの活動は今後も継続して行く必要がある。これからも体験者の声を伝え、そこから教訓や備えの大事さを広めていきたい。

7月4日 昭和28年大水害を語る日



8月 久留米で大水害写真展



11月 大分県で大水害写真展



8月8日 久留米でクルーズ・親子参加で乗船



8月8日 久留米でクルーズ・水害を船内で語る



11月28日筑後川中流の現地見学会

